

## ① 円高、円安

お金や暮らしの知恵を学びましょう！

新聞やテレビでは、毎日、経済や金融についての様々なニュースが流れます。

特に今年は「日銀がマイナス金利を解除」、「歴史的な水準の円安」、「日経平均株価が史上最高値を更新」など、大きな出来事が続き、ニュースでも大々的に取り上げられました。

経済や金融に関する言葉の知識があれば、経済ニュースがよりはっきり分かるようになります。今月号から、日常でよく見聞きするものを中心に、言葉の意味を簡単に解説しますので、復習のつもりでぜひご一読ください。

### 円高、円安

外国の通貨（ドルなど）の価値に比べて、円の価値が高くなることが「円高」、反対に低くなることが「円安」です。

例えば、円相場が1ドル100円から150円になれば、これまで10ドルの商品を買うのに1,000円あれば良かったところ、1,500円必要になります。円の価値が下がりましたので、これは「円安」です。

反対に、1ドル100円から80円になれば、10ドルの商品が800円で買えることになり、円の価値が上がったため「円高」です。

### 円高、円安になるとどうなる？

円高、円安は、様々な要因（政治的な要因、経済的な要因、天災や戦争など）によって、円の需要と供給が変化することで生じます。円の需要が大きくなれば円が買われ円高に、需要がなくなれば円が売られ円安に動きます。

円高になると、海外から安く商品や材料を仕入れることができ、輸入の点で有利に働きます。また、割安に海外旅行ができます。しかし、日本からの輸出品が海外で割高になるため、売れ行きが悪くなり、輸出産業は苦しくなるでしょう。円安になるとこの反対のことが起こります。

円高、円安はそれぞれにメリット・デメリットがあり、立場によってどちらが良いかが変わります。

